

第29回県中学校文化祭

県中文祭だより



第29回県中学校文化祭(県中文祭)は10月6日、砺波市文化会館と市美術館で開催。となみ野から越中へ全国へ、芸術で描く夢の「自分」のストーリーの下、県内の中学校と義務教育学校、特別支援学校の生徒が音楽や郷土芸能・演劇、科学などの9部門で活動の成果を発表した。

来場者は中学生らしい感性の光るステージ発表や展示などをじっくりと味わった。参加した生徒の感想を文え、当日の様子を紹介する。(敬称略)

科学



自作の装置で感電体験をする生徒ら

身近な現象追究

第1部では砺波市出町、射水市大門、立山町雄山、富山大付属の4中学校が研究発表を行った。身近な現象を追究したり、災害への対策を考えたり、科学の面白さを伝える実験をしたりと、個性豊かに発表した。

第2部では廃アルミのリサイ

クル事業をゼロから立ち上げた環境ベンチャーのアルハイテック(高岡市)の水木伸明社長の講演を聞いた。脱炭素社会をどのように実現するか、これからの社会はどうなるかなど興味深い内容で、たくさんの生徒が質問していた。